

---

エコ通勤メールマガジン 第 28 号(2025.4.16)

発行:エコ通勤優良事業所認証制度事務局  
(国土交通省大臣官房参事官(交通産業)及び  
公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団(エコモ財団))

---

◆◆主な内容◆◆

●寄稿、取組み紹介

●3月からエコ通勤ラッピングバスを運行します！【宇都宮市】

[https://www.city.utsunomiya.lg.jp/\\_res/projects/default\\_project/\\_page/\\_001/031/091/25.pdf](https://www.city.utsunomiya.lg.jp/_res/projects/default_project/_page/_001/031/091/25.pdf)

◆◆目次◆◆ (クリックすると各記事のページにジャンプします。)

1. 寄稿 1(エコ通勤優良事業所認証 制度認証事業所より)

「郡山市役所におけるエコ通勤の取組みについて」

【郡山市 総合交通政策課 企画係 原 貴史】

2. 現在の累計認証登録数

●エコ通勤優良事業所認証登録数

●うち長期継続認証事業所(満 10 年以上)

3. 新規認証登録事業所の取組み紹介

●2025 年 1 月 31 日付けで認証登録された事業所

●2025 年 2 月 28 日付けで認証登録された事業所

●2025 年 3 月 31 日付けで認証登録された事業所

4. 長期継続認証事業所の紹介

●2025 年 3 月 31 日付けで長期継続認証された事業所

5. ニュース／トピックス

6. イベント情報

7. 豆知識

●松江市における教育機関と企業が連携した TDM 施策

建設技術研究所 東京本社 交通システム部 五十嵐達哉

(日本モビリティ・マネジメント会議 実行委員会 幹事)

九州支社 道路・交通部 中原圭太

大阪本社 道路・交通部 小松秀晃

8. その他

---

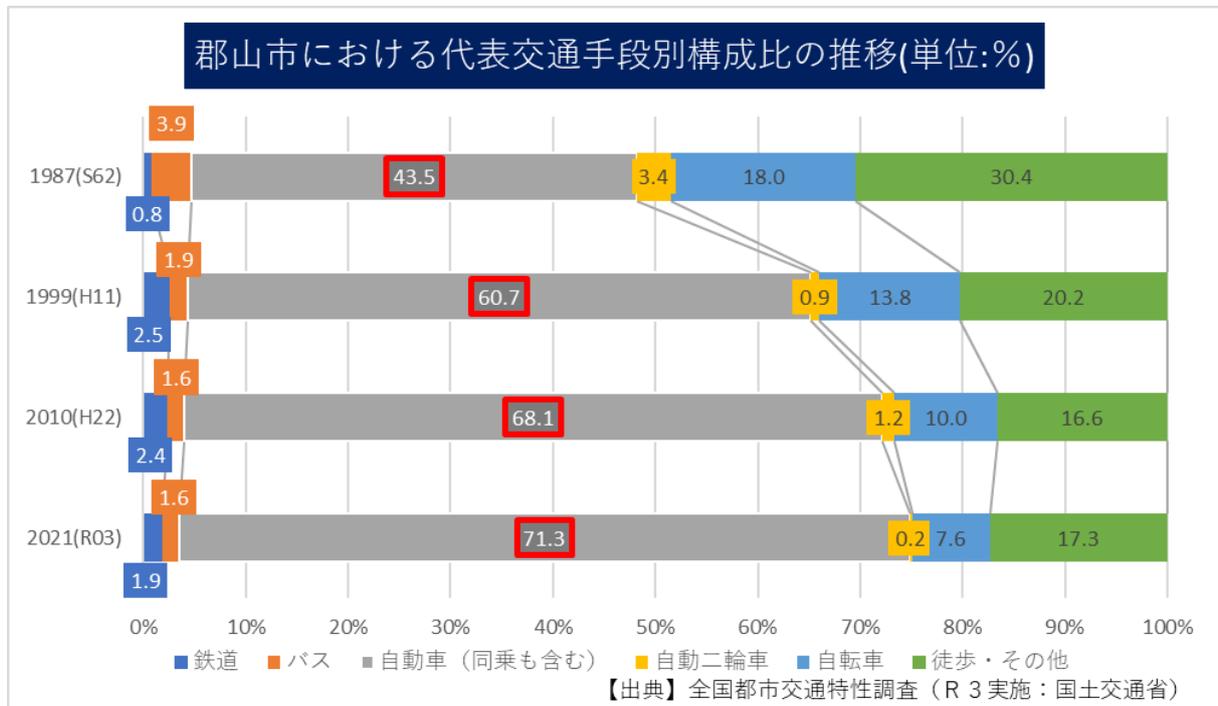
## 1. 寄稿1(エコ通勤優良事業所認証 制度認証事業所より)

「郡山市役所におけるエコ通勤の取組みについて」

【郡山市 総合交通政策課 企画係 原 貴史】

郡山市は福島県の中央に位置するとともに、首都圏と東北、太平洋側と日本海側とを結ぶ鉄道網と高速道路網が交差する「東日本のクロスポイント」となっています。こうした交通利便性の高さから、産業、教育、医療、流通等の都市機能が集積する福島県の中心都市となっています。市内の公共交通利用者数は人口減少やコロナ禍の影響から利用者数は減少傾向にある一方、通勤通学をはじめとする日常生活においては自家用車利用が高い水準にあります。

朝夕の通勤時間帯は市内各地の幹線道路で慢性的な渋滞が発生し、市役所付近においても同様に道路渋滞が発生しており、自動車での通勤によるデメリットが多く見受けられています。



このような状況のなか、本市では「過度な自動車利用」から「賢い自動車利用」を促すために、2015年12月に「エコ通勤優良事業所」の認証を受け、各種取組みを展開しているところであり、主な取り組みとしては、公共交通網の情報提供やコミュニケーション・アンケートによるエコ通勤に係る職員の意識調査に加え、定期的に公共交通施策に関連する「MM通信(モビリティ・マネジメント通信)」を発行し、エコ通勤への意識付けや公共交通利用促進に向けた職員への情報発信を行っております。

また、2024年度は福島県鉄道活性化対策協議会の事業を活用し、エコ通勤及び公共交通利用促進に係る周知啓発を図ることを目的にノベルティを作成し、地域公共交通会議やイベント

時において配布しているところです。

しかしながら、本市では家族の送迎等のため通勤距離が短い職員であっても自家用車での通勤が高い値で推移しているのが現状ですが、本年12月でエコ通勤の認証から10年を迎えることから、職員のさらなるエコ通勤に対する意識付けをはかり、渋滞解消・緩和、環境負荷軽減や健康増進に大きく寄与するエコ通勤の取組みを継続していく予定です。

**トラフィック&MM (モビリティ・マネジメント) 通信**  
—令和6年度 第1号—

令和6 (2024) 年6月1日発行  
都市構想部  
総合交通政策課  
TEL 924-3721

**1 公用ノルカカード運用中!**

総合交通政策課では、公務における交通渋滞の緩和や環境負荷軽減、公用車での事故の防止に向けて「**公用ノルカカード**」の貸し出しを行っています! 駅前周辺の用務 (郡山商工会議所、ビッグアイなど) に便利な公用ノルカカードをぜひ活用ください。

※令和5 (2023) 年度利用実績や郡山市役所や郡山駅前バスダイヤは以下の掲示板から確認できます。  
[掲示板](#) > [都市構想部](#) > [総合交通政策課](#) > [モビリティマネジメント関係](#) > [公用ノルカカード関係](#)

ノルカカード・利用方法	
乗車時	乗車口に設置されているカードリーダーへノルカカードをタッチ
降車時	降車口の運賃箱に設置されているカードリーダーへノルカカードをタッチ ※複数人での利用の場合→カードをタッチする前に、運転手にその旨を伝えてください。 例: 大人2名で利用の場合→タッチ前に「大人2名」と伝え、設定完了後にタッチ

**2 Suicaエリア外もチケットレスで 東北エリアから「えきねっとQチケ」がはじまります!**

JR東日本では、令和6 (2024) 年10月1日より、Suica対応エリア外であってもQRコードを活用し、チケットレスかつシームレスに新幹線や鉄道を利用可能な「**えきねっとQチケ**」のサービスを東北エリアから開始します。便利な「えきねっとQチケ」で新幹線や鉄道を乗車していませんか?

えきねっとQチケのメリット	
シームレス	新幹線も在来線もスマートフォン上の乗車用QRコードで乗り降り可能です。
チケットレス	みどりの窓口や券売機でのきっぷの発券は必要なく、スマートフォン一つでチケットレスに乗り降り可能です。

※詳細は、JR東日本プレスリリースをご確認ください。

**3 郡山市役所は「エコ通勤優良事業所」に認証されています!**

市街地の道路渋滞や車利用によるCO2排出などが課題となっています。郡山市役所はこれら課題に対応する「エコ通勤」を積極的に推進している事業所として、公共交通利用推進等マネジメント協議会より「**エコ通勤優良事業所**」に県内自治体で唯一認証されています。

通や月に一度、自動車ではなく自転車・公共交通を利用して通勤していませんか?

エコ通勤に関する取り組み	
徒歩・自転車通勤推進の日	郡山市役所は、毎月14日を「徒歩・自転車通勤推進の日」と位置づけ、市職員の徒歩・自転車による通勤を促しています。
バス・鉄道利用促進デー	福島県では、毎月1日、11日、21日を「バス・鉄道利用促進デー」とし、同日に限り利用できる特典を実施しています。詳しくは福島県ウェブサイトをご確認ください。

↑バス・鉄道利用促進デーについて



---

---

## 2. 現在の累計認証登録数

### ●エコ通勤優良事業所認証登録数

445 件 856 事業所(2025 年 3 月 31 日現在)

### ●うち長期継続認証事業所(満 10 年以上)

129 件 422 事業所(2025 年 3 月 31 日現在)

※件： 単独申請の事業所数と共同申請の代表事業所数を足しあわせた数

※事業所： 単独申請の事業所数と共同申請の全事業所数を足しあわせた数

### ●エコ通勤優良事業所認証登録事業所一覧(最新):

[http://www.ecomo.or.jp/environment/ecommuters/data/ecommuters\\_sougou\\_ichiran.pdf](http://www.ecomo.or.jp/environment/ecommuters/data/ecommuters_sougou_ichiran.pdf)

---

---

## 3. 新規認証登録事業所の取組み紹介



直近 3 ヶ月間に新規認証登録された事業所は、以下の通りです。

(都道府県別に北から順に、また都道府県内にある場合は、登録番号順に記載しています。)

### ●2025 年 1 月 31 日付で認証登録された事業所

#### 【株式会社ヴァン・クリエイト】

登録番号 09-0083

栃木県宇都宮市(関東運輸局管轄)

取組み内容の概要:

- ・パンフレットやメールの配付・掲示
- ・駐輪場の設置

#### 【梅山自動車工業株式会社】

登録番号 09-0084

栃木県宇都宮市(関東運輸局管轄)

取組み内容の概要:

- ・パンフレットやメールの配付・掲示
- ・駐輪場の設置
- ・更衣室やシャワールームの設置

【株式会社 共永機材】

- 登録番号 09-0085
- 栃木県宇都宮市(関東運輸局管轄)
- 取組み内容の概要:
  - ・パンフレットやメールの配付・掲示/
  - ・駐輪場の設置

【宇都宮電設工業株式会社】

- 登録番号 09-0086
- 栃木県宇都宮市(関東運輸局管轄)
- 取組み内容の概要:
  - ・パンフレットやメールの配付・掲示
  - ・駐輪場の設置

【株式会社稲吉建設】

- 登録番号 23-0138
- 愛知県日進市(中部運輸局管轄)
- 取組み内容の概要:
  - ・パンフレットやメールの配付・掲示
  - ・駐輪場の設置
  - ・更衣室やシャワールームの設置

【一般財団法人熊本県スポーツ振興事業団】

- 登録番号 43-0007
- 熊本県熊本市(九州運輸局管轄)
- 取組み内容の概要:
  - ・パンフレットやメールの配付・掲示
  - ・エコ通勤手当の支給

●2025年2月28日付で認証登録された事業所

【株式会社エフエム栃木】

- 登録番号 09-0087
- 栃木県宇都宮市(関東運輸局管轄)
- 取組み内容の概要:
  - ・パンフレットやメールの配付・掲示
  - ・駐輪場の設置

【株式会社ピースノート】

- 登録番号 09-0088
- 栃木県宇都宮市(関東運輸局管轄)
- 取組み内容の概要:
  - ・パンフレットやメールの配付・掲示
  - ・駐輪場の設置

【株式会社シノザキ 本社】

- 登録番号 09-0089
- 栃木県宇都宮市(関東運輸局管轄)
- 取組み内容の概要:
  - ・パンフレットやメールの配付・掲示
  - ・公共交通の情報を提供
  - ・駐輪場の設置

●2025年3月31日付で認証登録された事業所

【株式会社パー】

- 登録番号 23-0139
- 愛知県名古屋市(中部運輸局管轄)
- 取組み内容の概要:
  - ・定例ミーティング
  - ・レンタサイクルの導入

【株式会社山下設計 中部支社】

- 登録番号 23-0140
- 愛知県名古屋市(中部運輸局管轄)
- 取組み内容の概要:
  - ・パンフレットやメールの配付・掲示
  - ・時差出勤制度の導入

なお、既に認証・登録済みの事業所のうち、「エコ通勤取組み事例紹介」のご提出があった事業所、あるいは本メールマガジンで取組み内容の概要をご紹介し承認の得られた事業所は、以下のページでご紹介しております。取組みの参考情報として是非ご覧ください。

<http://www.ecomo.or.jp/environment/ecommuters/case.html>

---

---

#### 4. 長期継続認証事業所の紹介

直近 3 ヶ月間に更新審査を終え、新たに長期継続認証された事業所は、以下の通りです。  
(都道府県別に北から順に、また都道府県内にあつては、登録番号順に記載しています。)

●2025 年 3 月 31 日付けで長期継続認証された事業所

□新規認証登録から満 10 年を迎えた事業所

: 通常のロゴマークをブロンズ色で囲んだ「長期継続認証ロゴマーク  
(満 10 年以上 20 年未満)」を使用できます。



登録番号	事業所名	市区町村	登録日
23-0017	田中建設工業株式会社	愛知県豊田市	2015/3/31
23-0018	水道機工株式会社 名古屋支店	愛知県名古屋市	2015/3/31
25-0011	滋賀県庁 本庁舎	滋賀県大津市	2015/2/27

---

---

## 5. ニュース／トピックス

### ●第16回デコ活応援団会合の開催結果等について【環境省】

「デコ活」(脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動)の進展状況を報告します。

- ① 第16回デコ活応援団(新国民運動・官民連携協議会。会員数 2,208)会合を令和7年3月14日(金)に開催しました。
- ② 前回報告(令和6年12月19日)以降、脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る各主体の取組・製品・サービス等を14件、追加で御登録いただきました。
- ③ これまで累計 12,043 の組織・個人の皆様にデコ活宣言をしていただきました。

[https://www.env.go.jp/press/press\\_04596.html](https://www.env.go.jp/press/press_04596.html)

### ●テレワーカーの割合は下げ止まり傾向 ～令和6年度のテレワーク人口実態調査結果を公表します～【国土交通省】

国土交通省では、テレワーク関係府省※と連携して、テレワークの普及促進に取り組んでおり、今後の促進策に役立てることを目的として、「テレワーク人口実態調査」を実施しています。今年度調査における雇用型テレワーカーの割合は、昨年度調査から0.2ポイント減少し、24.6%となりました。

[https://www.mlit.go.jp/report/press/toshi03\\_hh\\_000165.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/toshi03_hh_000165.html)

### ●運輸・交通と環境2025年版を発行しました【エコモ財団】

エコモ財団は、3月25日に「運輸・交通と環境2024年版」を発行しました。国土交通省総合政策局環境政策課監修、エコモ財団発行で、交通環境問題に関心をお持ちの方々や、実践的な活動に携わっておられるの方々向けに、運輸・交通分野における環境問題について、基礎的なデータと、最新の対策や取り組みを分かりやすく紹介しています。

<https://www.ecomo.or.jp/environment/unyukotsutokankyou/index.html>

### ●欧州の ICT による交通の施策や実態の特徴等を把握【国土交通政策研究所】

欧州(EU3 各国)における ICT 活用によるモビリティサービスの展開に着目し、文献とインタビュー調査を通じて、地域モビリティの新たな取組の特徴、課題及び対応をとりまとめました。

<https://www.mlit.go.jp/pri/houkoku/gaiyou/kkk182.html>

### ●「脱炭素エキデン京都」プロジェクトへ参画

株式会社Fujitaka(本社:京都府京都市)は、2025年4月1日、京都府と株式会社スタジオスポビー(本社:東京都中央区)による、脱炭素社会の実現に向け行動変容を推進する「脱炭素エキデン京都」プロジェクトに参画します

<https://www.fujitaka.com/news/detail/post-8922/>

●「交通空白」解消に向けた地域公共交通計画等のアップデートを後押し ～地域公共交通計画の「アップデートガイドンスVer1.0」を公表～【国土交通省】

国土交通省では、令和6年7月に「交通空白」解消本部を設置し、「地域の足」「観光の足」の確保を進めています。今般、自治体等が「交通空白」の解消を進めるための支援ツールの一つとして、地域公共交通計画の立案等に当たってのモビリティデータの活用方法等を紹介した「アップデートガイドンスVer1.0」を作成したため、公表いたします。

[https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo12\\_hh\\_000422.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo12_hh_000422.html)

●通勤用EVサブスクのHakobuneが「NIKKEI脱炭素アワード2024」にて大賞を受賞

企業&従業員向けEVサブスクサービスを提供する株式会社Hakobune（本社：東京都千代田区、以下「Hakobune」）が、日本経済新聞社主催「NIKKEI脱炭素アワード2024」において大賞を受賞したことをお知らせいたします。

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000019.000126220.html>

●公共交通機関を利用した通勤の実証実験を開始 上田市健康づくり応援アプリ「うえいく」を使った徒歩によるCO2削減も実施

HIOKI(日置電機株式会社：長野県上田市)は、4月から6月まで、環境配慮と地域社会への貢献を目指し、公共交通機関で通勤する実証実験と歩くことでCO2を削減する実証実験を開始します。

<https://www.hioki.co.jp/jp/information/detail/?id=3001>

●3月からエコ通勤ラッピングバスを運行します！【宇都宮市】

宇都宮市では、令和4年度から公共交通利用促進運動「MOVE NEXT UTSUNOMIYA」事業を展開し、市民の皆様や企業等に対して、幅広く公共交通の利用促進に取り組んでいます。

その取組の一環として、市内事業所等に対し、従業員の通勤手段を公共交通や自転車などの環境にやさしいものへ転換することを促す「エコ通勤※普及促進事業」を実施し、「エコ通勤優良事業所認証」取得を呼びかけたところ、市内52社に認証を取得いただきました。

この度、これらの事業所を、エコ通勤を通して公共交通の利用促進に取り組む事業所としてPRするとともに、エコ通勤に取り組む事業所の更なる拡大を図るため、エコ通勤ラッピングバスを運行します。

[https://www.city.utsunomiya.lg.jp/\\_res/projects/default\\_project/\\_page/\\_001/031/091/25.pdf](https://www.city.utsunomiya.lg.jp/_res/projects/default_project/_page/_001/031/091/25.pdf)

●令和6年度「スマートモビリティチャレンジ」事業の成果と今後の取組の方向性について

経済産業省では、令和6年度のMaaSに関する実証実験やスマートモビリティチャレンジ推進協議会での取組等から得られた成果や課題を踏まえ、有識者の意見を伺いつつ、次年度のスマートモビリティチャレンジ事業の展開に向けた方向性をとりまとめました。

[https://www.meti.go.jp/shingikai/mono\\_info\\_service/smart\\_mobility\\_challenge/20250331\\_report.html](https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/smart_mobility_challenge/20250331_report.html)

●磐田市JR御厨駅一本社間で従業員通勤向けにグリーンスローモビリティを運行開始

ヤマハ発動機株式会社は、静岡県磐田市のJR御厨駅北口ロータリーと当社本社の区間で、本社従業員の通勤向けに、当社製グリーンスローモビリティ(以下、グリスロ)の運行を開始します。

[https://news.yamaha-motor.co.jp/2025/029159.html?\\_gl=1%2arx6c5j%2a\\_gcl\\_au%2aMTA4Mzk4NDY5MS4xNzQ0NzkxNDU5](https://news.yamaha-motor.co.jp/2025/029159.html?_gl=1%2arx6c5j%2a_gcl_au%2aMTA4Mzk4NDY5MS4xNzQ0NzkxNDU5)

---

---

## 6. イベント情報

※イベントの内容・開催日時が変更になる場合があります。最新の情報は主催者のホームページ等でご確認ください。

●第 20 回日本モビリティ・マネジメント会議

日時:2025 年 9 月 12 日(金)・13 日(土)

場所:北海道札幌市 札幌コンベンションセンター

主催:(一社)日本モビリティ・マネジメント会議

<https://www.jcomm.or.jp/>

---

---

## 7. 豆知識

### ●松江市における教育機関と企業が連携した TDM 施策

建設技術研究所 東京本社 交通システム部 五十嵐達哉  
(日本モビリティ・マネジメント会議 実行委員会 幹事)  
九州支社 道路・交通部 中原圭太  
大阪本社 道路・交通部 小松秀晃

#### 1. はじめに

このメルマガのテーマ「エコ通勤」と絡めて、松江市で渋滞対策として実施している TDM(交通需要マネジメント:Transportation Demand Management)の取り組みを紹介します。

#### 2. 渋滞対策における TDM

渋滞緩和に向けた取り組みでは、道路拡幅やバイパス整備などのハード対策だけでなく、TDMなどのソフト対策が両輪で実施されています。特に TDM については、コロナ過における外出抑制時に渋滞が緩和したこと、コロナ以後テレワークや時差出勤など新たな働き方が社会に浸透してきたことから近年積極的に取り組みが進められています。また、IT の進展により交通に関するビッグデータが活用できるようになったこと、道路利用者等への情報提供手段が多様化したことも TDM 推進の後押しになっています。

#### 3. 松江市における TDM の取り組み

上記のような状況を踏まえ、松江市ではコロナ以後の令和 3 年度から TDM により渋滞緩和を目指す取り組みが進められています。渋滞対策に関する TDM では、①時間帯の変更、②経路の変更、③交通手段の変更、④自動車の効率的利用、⑤発生源の調整がありますが、松江市では渋滞区間を迂回する道路がないこと、自動車からの転換を支えられる公共交通が少ないことなどから、①時間帯の変更、⑤発生源の調整を中心に検討しています。

##### (1) 令和 3 年度の取り組み(Hop)

ETC2.0 データの分析により、渋滞発生時刻を特定し、その前後に少しずつことでの時間短縮効果を定量的に示し、利用者の行動変容を促しました。住民への周知として横断幕や YouTube 広告等を実施し、YouTube 広告では、5 秒スキップ再生回数:6.47 万回、全再生回数:2.12 万回(中国地方整備局公式の YouTube 動画暫定 1 位)になりました。

本取り組みにおいて、若干の交通量シフト(時間変更)が見られましたが、効果は限定的でした

▼広報チラシ



▼横断幕



▼Youtube動画(プッシュ型配信)



▼Twitter発信



(2)令和4年度(Step)

出勤時間の変更(時差通勤)においては、利用者だけは判断できず、企業の勤務形態等が重要と判断し、松江市商工会議所所属の2,800社に広報チラシを配布しました。時差通勤導入に関する企業側のメリットが少なくなかなか協力が得られない中、「リクルートにつながるのであれば取り組む企業は多い」との気づきを得ました。

(3)令和5年度以降(Jump)

地元企業の時差通勤参画モチベーションを高め都市圏全体として時差通勤による渋滞緩和を目指していくため、島根大学・松江高専の学生と連携した「松江 Good Morning Project 🍌」を立ち上げました。



プロジェクトのロゴマーク

「松江 Good Morning Project 🍌」は、「渋滞だけじゃない、みんなが働きやすい社会へ」をキーワードに、地域の学生と企業をマッチングすることで、双方メリットを生み出し、取り組みの促進を図るものです。時差通勤に向けた企業との意見交換や広報周知を学生が主体となって行うことで、「学生が企業を」、「企業が学生を」知る機会を創出するとともに、学生にとって魅力的な職場環境の構築に関する企業のモチベーションアップを目指しています。

令和5年度には、学生のアイデアによるチラシ・ポスター作成や学生が実際に企業を訪問し、本プロジェクトのPRを行うなどの取り組みを実施しました。令和6年度には賛同してくれる企業が8社に増加するなど取り組みが広がっており、今後の更なる拡大に向けたロードマップを作成しました。



#### 4. おわりに

渋滞緩和は、移動時間の短縮、道路利用者の満足度向上だけでなく、CO2削減など環境課題の解決、地域の魅力向上にも寄与します。今後も学生・企業・教育機関・自治体・道路管理者が連携し、本取り組みを推進していきたいと思えます。

なお、本取り組みは、国土交通省 中国地方整備局 松江国道事務所様の業務の中で、検討・実施したものです。本掲載に関し、松江国道事務所様にご協力いただきましたことを感謝いたします。

---

---

## 8. その他

- 総合的な交通体系を目指して総合交通メールマガジンを発行しています！【国土交通省】  
[https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/seisakutokatsu\\_soukou\\_tk\\_000005.html](https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/seisakutokatsu_soukou_tk_000005.html)
- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！【エコモ財団】  
<https://mm-education.jp/mailmagazine.html>
- 環境的に持続可能な交通(EST)メールマガジンを発行しています！【EST 普及推進委員会事務局(エコモ財団)】  
<https://www.estfukyu.jp/mailmagazine.html>
- グリーンスローモビリティに関する情報を掲載しています！【エコモ財団】  
[https://www.ecomo.or.jp/environment/gsm/gsm\\_top.html](https://www.ecomo.or.jp/environment/gsm/gsm_top.html)
- 「運輸・交通と環境」を発行しています！  
(日本語版)【国土交通省監修・エコモ財団発行】  
<https://www.ecomo.or.jp/environment/unyukotsutokankyuu/index.html>  
(英語版)【エコモ財団発行】  
<https://www.ecomo.or.jp/english/tej.html>
- エコ通勤・職場モビリティ・マネジメントをはじめとするモビリティ・マネジメントについての各種情報を掲載しています！【一般社団法人日本モビリティ・マネジメント会議(JCOMM)】  
<https://www.jcomm.or.jp/>
- 記事募集中！【事務局】  
本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。  
エコ通勤あるいは職場モビリティ・マネジメント、さらにはそれらと広く関連するテーマ(地域公共交通活性化、徒歩、自転車、地域モビリティ確保など)での取り組みや話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。 → E-mail: [ecommuters-news@ecomomo.or.jp](mailto:ecommuters-news@ecomomo.or.jp)(担当:内藤)

---

発行:エコ通勤優良事業所認証制度事務局

(国土交通省総合政策局大臣官房参事官(交通産業)及び  
公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団(エコモ財団))

エコ通勤ポータルサイト: [https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/sosei\\_transport\\_tk\\_000073.html](https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/sosei_transport_tk_000073.html)

認証制度 HP: [https://www.ecomo.or.jp/environment/ecommuters/ecommuters\\_top.html](https://www.ecomo.or.jp/environment/ecommuters/ecommuters_top.html)

<お問い合わせ先>エコ通勤優良事業所認証制度 事務局 メールマガジン配信担当  
(公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団) 担当 内藤

E-mail: [ecommuters-news@ecomomo.or.jp](mailto:ecommuters-news@ecomomo.or.jp) TEL: 03-5844-6268 FAX: 03-5844-6294

バックナンバー閲覧: <https://www.ecomo.or.jp/environment/ecommuters/mailmagazine.html>

※ 配信先の新規登録・変更希望の場合は、登録事業所名、配信先担当者の所属部署、

役職、氏名、E-mailをお知らせください。ただし、対象は認証登録事業所です。